

# 英語科学習指導案

日時：平成30年1月24日（水）5校時

学級：2年1組・2組 計26名

授業者：T 1 教諭 山口 直美

T 2 教頭 古庄 忍

2組 教諭 松永 隆

## 1 単元名 NEW HORIZON English Course 2 Unit 7 The Movie Dolphin Tale

### 2 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、少年とイルカの絆を描いた実話である映画「Dolphin Tale」を中心に構成されている。主人公の少年が、けがを負ったイルカに愛情を注いでいくことによってうまれる、人間と動物の友情を描いた感動的なドラマである。また、内気な少年が、様々な体験をとおして成長していく姿にも注目できる。物語をとおして、「思いを持って物事に挑戦すること」や「命あるものの尊さ」、さらにイルカの姿からは「困難に立ち向かう勇気」など、それぞれの立場から様々な心情を感じとらせ、自分のことと関連して考えさせる機会としたい。

また、文法事項として、比較表現（比較級・最上級等）を取り扱う。文法理解においては、教科書の内容等と関連させて取り扱うとともに、単元の終末において、日常生活や社会科等と関連させた題材を用いて、理解を深めさせ、定着を図りたい。

本単元での学びをとおして、生徒が登場人物の心情をふまえ、情景を描きながら物語の内容を英語で説明できるようになることを目標とし、さらに自分の思いや考え等自分の言葉で表現できるようになることを目指して取り組んでいく。

#### (2) 生徒観:

本学級は、日頃からやるべきことをわきまえて生活している生徒が多く、穏やかな雰囲気での学習に取り組むことができる。その一方で、積極性に欠ける面もあり、発言に対し控えめで、自発的な活動が求められるという課題も残る。

入学時より、小学校外国語活動で多くのコミュニケーション活動に触れてきたことをふまえ、英語による授業展開や教師と生徒、生徒同士の関わりを大切にして取り組んできた。

また、2年次より、教科書の内容と関連付けた英語でのやりとりを活性化させるために、発問を中心に授業を展開し、それに対してグループで考え、応答していく体制づくりを進めている。この活動においては、間違いを恐れず、自分の知っている英語で表現しようとする表現力の育成を目指している。各単元において、同様の活動形態を活用し、繰り返し英語で表現させることで、教科書をとおして学習したことを、少しずつ英語で表現できるようになってきている。

生徒の意識調査からもわかるように、単元の目標を明確にして、繰り返し発話することは、効果的であり、発話する英語を意味のあるものとして、アウトプットさせることで、生徒達が英語学習に対する達成感や充実感を感じていることが表れている。

これまでも本文内容を問う事実発問に加え、物語中の行間を読み、内容を推測する推論発問を意図的に活用し、授業展開を図ってきた。今後もさらに、推論発問を効果的に取り扱っていくことで、生徒の思考に働きかけ、より深く考えたり、内容を理解したりすることができるよう働きかけたい。また、単元の終末においては、物語の内容に対して自分の考えや態度を述べる評価発問を投げかけ、生徒が単元をとおして学んだことと自分の思いを関連させて、英語で述べることができるようになることを目指している。

\* 「平成29年度英語学習に関するアンケートより」

①英語の授業に関する関心は高い。

	9月	11月	12月
ア すごく思う	16.0%	16.7%	41.6%
イ 少し思う	44.0%	54.2%	50.0%
ウ あまり思わない	32.0%	25.0%	4.2%
エ 全然思わない	8.0%	4.1%	4.2%

②英語で自分の考えを表現できる。

	9月	11月	12月
ア (全く) できない	8.0%	12.5%	12.5%
イ 単語を使って表現できる	28.0%	16.7%	16.7%
ウ 簡単な英語(1・2語)で表現できる	56.0%	54.1%	50.0%
エ 英文に理由をつけて表現できる	8.0%	16.7%	12.5%
オ 自分の考えを表現し、相手とのやりとりにつなげることができる。	0%	0%	8.3%

③英語を繰り返し言うことで、英語が身についていくと思いますか？(12月のみ実施)

ア すごく思う	58.3%
イ 少し思う	33.3%
ウ あまり思わない	4.2%
エ 全然思わない	4.2%

ア すごく思う	62.5%
イ 少し思う	33.3%
ウ あまり思わない	0%

エ 全然思わない

4.2%

④絵や写真を用いて、

英語を話すことは英語を身につけるうえで役に立つと思いますか？

(12月のみ実施)

### (3) 指導観

これまでの単元においては、教科書の内容を重視したQ&Aを繰り返す「インプット活動」から自分の言葉で表現しようとする「インテイク」につなげ、最終的に、「アウトプット」となる表現活動を継続させてきている。それぞれの単元の最初に目標となる「単元をとおして、できるようになること」を提示し、目標につながる活動を繰り返し、積み重ねていくことを継続させている。

本単元では、「少年とイルカの物語を英語で説明し、自分の意見を述べるができる」ことを目指す。単元をとおして、生徒が生活体験や学習経験で身につけてきた知識を引き出す発問を行い、思考に働きかけながら、自分の言葉で表現しようとすることを目指す。そのために、以下のことを意識した取り組みを進めていく。

- ①生徒が物語を思い描き、英語で理解していくことができるよう発問を工夫する。
- ②生徒が登場人物の体験や物語の情景について、英語で説明することができるよう繰り返し表現させる。
- ③視覚教材を活用して、物語の内容理解や文法事項（比較表現）の理解と定着に努める。

## 3 単元目標と評価規準

目 標:ア 間違いを恐れず積極的に自分の言葉で話す。(関心・意欲・態度)

イ 物語の内容を読んだり、聞いたりして英語で理解する。(外国語理解の能力)

ウ 視覚教材を参考にして、物語の内容を英語で説明する。(外国語表現の能力)

エ 物語の内容に対する自分の考えや思いを、英語で表現する。(外国語表現の能力)

オ 語彙や比較表現と活用の仕方を正しく理解する。(言語・文化の知識理解)

評価規準:ア 間違いを恐れず積極的に自分の言葉で話している。(関心・意欲・態度)

イ 物語の内容を読んだり、聞いたりして英語で理解できる。(外国語理解の能力)

ウ 視覚教材を参考にして、物語の内容を英語で説明できる。(外国語表現の能力)

エ 物語の内容に対する自分の考えや思いを、英語で表現できる。(外国語表現の能力)

オ 語彙や比較表現と活用の仕方を正しく理解できる。(言語・文化の知識理解)

#### 4 単元の指導と評価の計画

※○が本時

時	学習内容	評価
1	登場人物や場面の特徴をとらえ、物語の背景について英語で考え、物語への興味・関心を高める。	ア・イ (活動の観察)
2	Part(3)-1 の Q&A と音読 発問を通して、内容理解を深め、自らの言葉で表現する。	ア・イ・ウ (活動の観察)
③	Part(3)-2、(4)-1 の Q&A 発問を通して、内容理解を深め、自らの言葉で表現する。	ア・イ・ウ (活動の観察)
4	Part(4)-2 の Q&A 発問を通して、内容理解を深め、自らの言葉で表現する。	ア・イ・ウ (活動の観察)
5	Part(1)・(2) の Q&A と音読 様々な海洋生物について知る。物事を比較する表現を知る。	ア・イ・オ (活動の観察)
6	語句のまとめ Part(1)～(4)の Q&A による振り返りと口頭練習	ア・イ・ウ・オ (活動の観察)
7	視覚教材を活用し、物語の内容について、英語で表現する。 ①文法 (比較級-er、more) のまとめと活用	ア・ウ・オ (ワークシート)
8	②文法 (最上級-est、the most) のまとめと活用：音読チェック	ア・イ・オ (ワークシート)
9	視覚教材を活用し、物語の内容について、英語で表現する。 ③文法 (原級 as～as) のまとめと活用	ア・ウ・オ (ワークシート)
10	物語について英語で話したり、書いたりして説明する。	ア・ウ・エ (ワークシート・発表)

#### 5 「大学等と連携した英語指導力向上事業」について

(1) 研究テーマ：「コミュニケーション能力を育む英語教育の充実」

(2) 重点研究事項 (授業づくりの視点)

##### ① 発問や指導法の工夫

生徒が教科書の題材である「少年とイルカの物語」への関心を高め、生活や学習体験と関連づけられるよう提示教材や発問を工夫する。特に、物語の理解に関して、生徒の心情や思

考に働きかける発問を精選することで、自らの考えや思いを英語で表現しようとする態度につなげることができるであろう。

② インプットからアウトプットへの工夫（英語で学ぶ工夫）

発問の工夫により、生徒が「少年とイルカの物語」を英語で理解し、単元全体をとおして、繰り返し表現する場面を設定することで、物語の内容について英語で表現できるようになるであろう。

③ 小学校外国語活動と英語科の円滑な接続

生徒が小学校や各教科で学習した知識を英語の学習で生かせるよう、教科横断的なつながりを模索し、様々な学びを英語の学習と結び付け、学びの連続性を確立する。

この単元においては、命の大切さや周囲との協力など、道徳と関連させることで、生徒の心情に働きかけ、自分の考えや思いを英語で表現しようとする態度につなげることができるであろう。

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①英語での説明や質問を聞いて、積極的に自分のことばで答えようとする。
- ②英語での説明や質問を聞いて、物語の内容について考え、英語で表現することができる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動・学習内容	教師の支援・留意点	形態	評価
復習	1 あいさつ ※役割を確認する。	あいさつ	個人	ア
	2 Guessing Time (10分) 提示された写真について、知っていることを英語で表現する。 さらなる情報をたずねる質問をする。	T2:これまでの学習を思い起こさせる質問をする。 新出表現を文脈の中で、活用する。 T1・2: 既習の英語を用いて表現しようとしているか観察し、支援する。	一斉 班	
導	3 めあてを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">少年とイルカの物語について考え、英語で表現しよう。</div>			
入	4 教科書を音読する	T1・2:各生徒を観察し、つまづきのある生徒を中心に支援する。	個人	イ
	5 発問を用いて、前時までの物語の内容	T1:イルカのけがへの対処や対応の方		

展 開	<p>を英語で思い起こさせ、表現させる。 (15分)</p> <p>6 イルカのけがの状況を知り、その対応に関して必要なことを考える。 自分たちの考えを英文で表現する。</p>	<p>法を考えさせる質問を行う。</p> <p>T1・T2: 各グループで質問の意味が理解できているか、全員で回答しようと確認しているかを観察し、支援する。</p>	班	ア ・ ウ
	<p>7 Q&amp;A によって表現された英文を口頭練習する。</p> <p>8 少年のイルカに対する思いや行動について考え、英語で表現する。</p>	<p>T1:Q&amp;A をとおして、確認した英文を全体で練習させ、インプットにつなげる。</p> <p>T1: 少年のイルカに対する思いや行動について、考えさせる質問をする。</p> <p>T1・T2: 各グループで質問の意味が理解できているか確認し、支援する。 少年の立場に立って自由に表現できるように発言を促す。</p>	一斉  班	ア ・ ウ
	<p>9 Q&amp;A によって表現された英文を口頭練習する。 (20分)</p>	<p>T1:Q&amp;A をとおして、確認した英文を全体で練習させ、インプットにつなげる。</p>	一斉	
ま と め	<p>10 教科書の音読をとおして、本時で学習した内容について振り返り確認をする。 (5分)</p> <p>11 あいさつ</p>	<p>・場面を理解しやすいように、語彙や表現を意識ながら、音読させる。</p> <p>・あいさつ</p>	一斉	イ

## 7 評価

- (1) 英語での説明や質問を聞いて、積極的に自分のことばで答えようとしたか。
- (2) 英語での説明や質問を聞いて、物語の内容について考え、英語で表現することができたか。